

科目名	法曹・公務員仕事入門	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			法律学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Introduction to career Of Jurist and public official	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
ふりがな	さとう ひろとし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	佐藤 寛稔	修得単位	2 単位	
授業のテーマ	法律学を活かした仕事を知る。			
授業概要	大学で法律学をしっかり学ぶとさまざまな道が開かれます。弁護士や裁判官、検察官が法律学を活かした仕事であることは当然ですが、法治国家である以上、国家を実際に動かす公務員も非常に高い法律の専門知識が必要となります。しかし、実際にはそれぞれの仕事がどのように法律とかかわってくるのかはあまり知られていません。法曹人や公務員が、どのように法律を使うのか、そして何を勉強すればその仕事に就けるのかを学びます。また、現職の法曹関係者・公務員の方のお話を聞く機会も適宜用意します。			
到達目標	大学で学ぶ法律学を活かした職業が実際にどのようなものかイメージでき、具体的に目標を設定し、目標に挑戦する意欲を持ち、行動することができる。			
授業時間外の学習	法曹の仕事、公務員の仕事に関する本や雑誌に目を通しておいください。また公務員参観や学内の公務員説明会に意欲的に参加してください。			
履修条件	法曹・公務員に少しでも関心のある人は全員履修してください。また、そのことを前提とした出題をします。法律学科1年生の科目であることに鑑み、上級生が履修する場合には特に整容や言動に配慮してください。			
授業計画				
第1回	法律学と仕事 レポート			
第2回	法学徒のキャリアの頂点 法曹（裁判官・検察官・弁護士）・司法試験制度 レポート			
第3回	弁護士の仕事 弁護士を支える人々 レポート			
第4回	検察官の仕事 検察庁で働く人々 レポート			
第5回	裁判官の仕事 裁判所で働く人々 レポート			
第6回	法職系の公務員 一般司法警察職員（警察官） レポート			
第7回	法職系の公務員 特別司法警察職員① レポート			
第8回	法職系の公務員 特別司法警察職員② レポート			
第9回	国家公務員総合職 「法案」「政策」を作る人 レポート			
第10回	国家公務員一般職 官僚を支える中堅幹部候補 レポート			
第11回	国家公務員 専門職① 法務省専門職 外務省専門職など レポート			
第12回	国家公務員 専門職② 国税専門官 財務省専門職など レポート			
第13回	地方公務員(県庁・市役所・消防) レポート			
第14回	内閣法制局 議院法制局 国立国会図書館など レポート			
第15回	まとめの講義 レポート			
第16回	期末試験			
テキスト	受験ジャーナル特別企画2『公務員の仕事入門ブック 30年度試験対応 2018年度』（実務教育出版）			
参考文献・資料	授業中に適宜、指示します。			

成績評価の方法	<p>期末試験 (50%) 授業内レポート (50%) 出席点はありません。 <u>欠席数が5回以上の者については、試験を受けることができません。</u>この点はいかなる者のいかなる事情も考慮しません。部活、学校行事、病気、家庭の事情などでも欠席として扱います。また、公的な仕事につく人を養成するための科目の性質上、公僕に相応しくない整容の学生はそのことのみによって不可とします。(1回目から適用)</p>
成績評価基準	<p>【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
オフィスアワー	月曜日 9:00～10:30、火曜日 9:00～10:30
学生へのメッセージ	法律学を学んだ先には夢や希望がたくさんあります。とてつもなく大きな夢や希望を抱いて、法律学の勉強をスタートさせよう。